

<「再び子育て，そして親育て」期：『いまどきの親は』なんて言わない』編-1>

対象(時間)：中高年などの子育て支援者(110分程度)

よりそってみて… ～子育て環境の変化を知る～

【ねらい】子育て環境の時代変化を知り，現代における子育て支援について考える。

【準備物】学習者：筆記用具

主催者：名札，ワークシート，アンケート用紙，(必要に応じて，模造紙，付箋(2～3色)，フェルトペン(裏写りのしないもの)，マグネット，ホワイトボードなど)

時間	アクティビティの展開例	留意点	備考
：	○名札付け(来た順に)	○全員が名札をつける。(ニックネーム可)	※スケジュールを板書しておく。
：	○ファシリテーター(学習支援者)自己紹介，主旨・ルール等説明	○和やかな雰囲気づくりに配慮する。 ○写真を撮る場合は，予め了解を取る。(肖像権)	・机は講義形式
：	アイスブレイク(雰囲気づくり) 「一番早く起きたのはだ～れ」 ①言葉を発せず，自分が一番早く起きたと思う順に並ぶ。 ②起きた時間と最初にしたことを尋ねる。 ③並んだ順にグループを分ける。 ④グループで自己紹介をする。	○初対面の人同士の場合，自由に意見を出し合うためのウォーミングアップとする。 ○和やかな雰囲気づくりと，スムーズなグループづくりに配慮する。 →遅く起きた人が悪いという印象を与えないように注意しつつ，面白おかしくコメントを加える。 →グループ数だけの番号をかけるとよい。 →名前と好きな食べ物などを紹介。(この間にワークシートを配付する。)	・机を撤去 ・グループ数に応じて，机を配置
：	<思い出しましょう，出し合いましょう> ○自分が「大変だったと思うこと」，現在「大変だなと思うこと」を記入(P2) ○グループ内で話し合う。 ・共通する子育ての苦労 ・昔と異なる子育ての苦労 ○グループごとに発表する。	○子育てをしていた頃を思い出しながら，自分が子育てに対してどのように感じているかを振り返ってもらう。 →付箋紙に書き出して話し合い，模造紙に貼り出すと発表の際に効果的である。 ○価値観の多様性や，グループでは多くの気づきになることを実感してもらう。	
：	<資料の説明>P3,4 ○専業主婦に多い育児不安 ○乳幼児の世話をした経験 ○子育てへの自信のなさ <コラムの読み上げ>P4	○資料を使って子育てを取りまく現状を説明する。 ○コラムは，ファシリテーター(学習支援者)が読み上げても，参加者に読んでもらってもよい。(参加者の様子を見て決める。) ○資料・コラムを読んだ後，全体で意見交流をしてもよい。	
：	意見交流 ○感じたこと，気づきなどをグループで話し合う。 ○グループで出た話を発表する。	○資料とエピソードから，子育てを取りまく現状を理解し，支援の必要性に気づいてもらう。 →グループ発表の内容は板書するとよい。(「子育て支援者として心がけたいこと3ヶ条」をグループでまとめ，発表しても良い。)	
：	<学習を振り返りましょう> ○ワークシートへの記入 ○ファシリテーターの話	※時間があれば☆，県民の声も読む。(県民の声は必ずしも「模範解答」ではなく，いろいろな意見があるということを示すためのもの)	
：	○終了・片付け ○アンケート記入	→参加者全員で行う。 →アンケート記入者から流れ解散	・現状復帰

<メモ>